

—シューベルトとリストの楽曲が持つ音楽性は対照的であると言っても良い。萬谷はそんな2人のピアノ曲が持つキャラクターを巧みに弾き分けただけではなく、深い洞察力と精神性を持って最後の音まで聴衆を魅了し続けた。強靱なテクニックと安定性はもちろんのこと、萬谷のピアニズムを支えるものは、彼女の豊かなイマジネーションにある。(田隅 靖子/京都コンサートホール館長・ピアニスト)

近年深化著しい、ベルリンを拠点に活躍する本格派

萬谷 衣里(ピアノ) Eri Mantani Piano

2010年A.カサグランデ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)、ほかりスト国際ピアノコンクール最高位、シューベルト国際ピアノコンクール入賞。ルーマニア国際音楽コンクール第1位。2009年度音楽クリティック・クラブ奨励賞(いずみホールでのリサイタルに対して)、2014年度青山音楽賞「音楽賞」(現 青山賞)を受賞。

京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学、同大学大学院を修了。ドイツ国立ロストック音楽演劇大学ピアノ科および室内楽科を卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。(財)ロームミュージックファンデーション、(財)ヤマハ音楽振興会より奨学金を得る。

現在、ベルリンを拠点に日本、ドイツ、イタリア各地で多数の演奏会を行う。アンヌ・ケフェレック氏の推薦により、氏が監督するピアノフェスティバル(仏・サント)に出演。北ドイツ・フィル、ヴロツワフ・フィル(ポーランド)、関西フィル等と共演。その演奏は、「この優れたピアニストの音楽はこれからまだまだ深化していくだろう」(読売新聞)等、各メディアで高く評されている。

2017年にドイツ・MDGレーベルよりリリースしたセカンドアルバム「ドメニコ・スカルラッチィ ソナタ集」は世界各国で発売され、音楽誌等で高い評価を得ている。

これまでにピアノを横井悦子、大橋邦康、野島洋子、宮崎剛、中田元子、福井尚子、角野裕、ベルント・ツァック、アルヌルフ・フォン・アルニム、アレキサンダー・イエンナーの各氏に、歌曲伴奏をコンラート・リヒター氏に師事。

現在ドイツ国立ロストック音楽演劇大学非常勤講師。
オフィシャルサイト www.erimantani.com



ドメニコ・スカルラッチィソナタ集 (MDG) 2017年2月14日発売



スカルラッチィの音楽は、短い中に比類のないミクロコスモスが形成されており、それを過不足なく実現しようと思えば、指が回るとか音が美しいだけではとても済まされない難しさがある。そこに込められた瞬間的な美を的確に表現する鋭い感性と、その美を短い時間の中に封じ込める構築力が不可欠だが、萬谷衣里にはそれがある。非常に可能性を感じさせるピアニストの登場である。

—「レコード芸術」誌 中村 孝義氏 評

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業